



## 横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

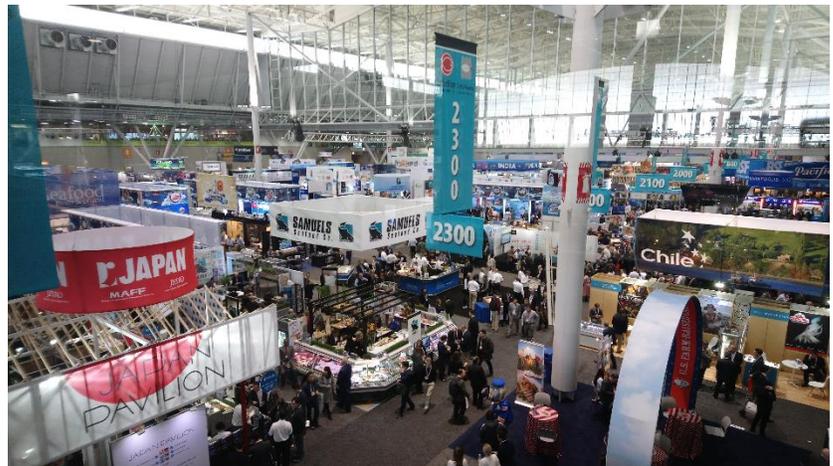
週間トピックス Vol. 473 (2018. 3. 16)

<今週のトピックス>

### 北米シーフードエキスポ

3月11～13日の3日間、ボストンのコンベンションセンターで北米最大級の水産系見本市「北米シーフードエキスポ 2018 (Seafood Expo North America)」が開催されました。ジェトロ（日本貿易振興機構）が設けたジャパンパビリオンには日本企業12社が出展し、マグロ、ブリ、タコ、牡蠣などの水産関連品の魅力を積極的にアピールしていました。

ジェトロが挙げる当見本市における有望商品には「サステナビリティを考慮した商品」とあります。これは、自社が取り扱う商品が、海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた将来に渡り持続可能な水産物であることを示すもので、ビジネスにおけるブランディングの一助となっています。今回の見本市では、日本の他、世界各国がパビリオンを形成していましたが、自国の水産物がサステナブルであること（MSC 認証を提示）を全面にアピールする国もあり、国を挙げてブランディング強化を行っている様子が見て取れました。ちなみに、MSC（Marine Stewardship Council、本部ロンドン）とは海洋管理協議会という非営利団体です。サステナビリティを認証する団体はMSCの他、ASC（水産養殖管理協議会）など多く存在します。



また参加していた企業からは、市の補助を受け今回の見本市に出展していることや、見本市にて実る商談もあるが、見本市に出展した実績が企業の信頼性につながり今後の海外企業との商談に役立つとの考えを持っているとの話を伺いました。

米国では毎年数々の展示会が開催されています。海外への進出を検討されている方は

ぜひこのような機会を情報収集の場として活用されてみてはいかがでしょうか。

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。